

シリーズ研修「高齢者向け賃貸住宅の現状と課題を考える」開催報告

《概要》

第3回テーマ 「住み続けられるノウハウ - 高齢者の入居者支援の仕組み」

開催日 2007年3月26日 13:00~16:00

開催地 札幌市住宅管理公社

主催者 住まいのプラットフォーム検討委員会

講師 奥田龍人氏（北海道社会福祉士会会長、
介護支援専門員）



3月26日、シリーズ研修「高齢者向け賃貸住宅の現状と課題を考える」の第2回目の研修会を開催致しました。

この研修会は主に高齢者向けの賃貸住宅のオーナー様、これからオーナーになりたいと考えられている方、高齢者の住まいに係わるお仕事をしている方を対象にした、「高齢者の住まい」のあり方や計画・経営のノウハウを学ぶための研修会です。

全5回の第3回目となります今回の研修会では、講師の奥田氏による経歴を交えたご挨拶の後、「高齢者の入居者支援の仕組み 介護保険とそれを取り巻くサービス」と題し、住宅政策と福祉政策のあゆみとそれに伴う弊害、人口増と福祉制度改正、2015年問題、所得格差が生む受けられる介護の格差、介護保険制度の現状と課題、高齢者向け賃貸住宅と特定施設の関係、有料老人ホーム・特定施設と高齢者専用賃貸住宅等の関係など、盛り沢山な内容について札幌市の現状・展望、介護の現場・福祉サービスの実情を交えながらご講義いただきました。

時間の都合で、ご準備いただいたグループワークを行うことはできなかったのですが、グループワークのお題から問題を提起していただき、受講者との質疑応答を通して理解を深めることができました。



今回参加された17名の受講者の皆様は、賃貸住宅オーナーやこれからオーナーになりたいと考えられている方、建築設計、施工関係、会社員など年齢も立場も様々でしたが、それぞれが自分や家族の老後、終の棲家をどのように選択していくか、または提供していくか、考えさせられる時間になったのではないかと思います。

尚、シリーズ研修第4回目「運営し続けるノウハウ 高齢者向け賃貸住宅の経営のあり方」は4月23日開催予定となっております。4回目以降のテーマ、日時、申込先等の詳細は、HPの高齢者向け賃貸住宅経営者向け「シリーズ研修会」参加募集(トップページの新着情報にあります)をご覧ください。